



「生きがい、充実感を持ち、未来に希望を抱くことができるまち」にしていきたい。

と考えています。

並行して、中心市街地を核に、回遊性を高める仕掛けを考えていきたいと思っています。

▼「地域脱炭素の実現と地域内経済循環の形成」について聞かせて下さい。

本市の一部地域は令和4年に環境省の「脱炭素先行地域」に、それ以外の地域も令和5年に「脱炭素重点対策実施地域」に選定されています。

引き続き、省エネ化、再エネ・蓄エネの導入拡大によって実現する地域脱炭素と、そうした事業への参画により収益を生み出す地域内経済循環の形成に取り組んでいきたいと考えています。

我が家も先日、重点対策実施地域の補助金を活用して、太陽光パネルと蓄電池を導入しました。太陽光パネルで発電した電気は、日中はもちろん、蓄電池によって夜も効率的に使うことができ、電気代を導入前より抑えることができました。

た。環境にもやさしく、家庭における経済的なメリットもあると感じています。

市民の皆さんが脱炭素に取り組めるよう補助制度も用意していますので、お勧めします。

▼「積極的、効率的な行財政運営」について聞かせて下さい。

人口減少を背景に、市の財政状況も厳しさを増しています。

市が行っている事業について、市民生活へ影響を及ぼさないよう、見直していく必要があります。このことにより、新たに投資できる財源を生み出していきたいと考えています。削減するだけでなく、圧縮した結果、投資を増やせるという観点で進めたいと思います。業務の見直しを行い、デジタル技術なども活用しながら、成果重視、効率的な行財政運営に努めます。ふるさと納税についても、継続して積極的にPRを行い、産業の振興と自主財源の確保に努めます。

中村市政が描く

5つのビジョン

産業の活性化を図るため、モノを生み出す環境を作り、異業種による連携、事業者の挑戦を後押し



地域産業の振興



ひと・地域を育てる
環境の充実

人、地域、企業や団体など、たくさんの魅力、地域社会を担う個性豊かで多様な人材や地域活動を応援



賑わいのある中心
市街地の形成

宮古駅周辺を中心拠点として、人が集い、交流が生まれ、賑わいの創出につながるよう取り組み、安心して医療や高齢者福祉、子育て支援、商業などの日常サービスを継続して受けられるまちづくりを推進

みんなで創る 宮古の未来



地域脱炭素の実現と
地域内経済循環の拡大

省エネ化の推進、再エネ、蓄エネの導入拡大により、脱炭素の地域づくり、エネルギーの地産地消を一層推進



積極的、効率的な
行財政運営

行政事業の見直し、公共施設の適正管理、デジタル技術の活用などにより、成果重視、効率的な行財政運営を推進。ふるさと納税などの自主財源の確保

▼新市20周年を迎え、今後の本市の将来像をどのように描きますか。

新市20年は、市民の皆さんと共に歩んできた20年です。

今ここに住んで生活している一人ひとりが、生きがいや充実感を持ち、未来に希望を抱くことができるよう、まちづくりを進めてまいります。行政の押し付けではなく、市民の皆さんが望むところに支援をしてまいります。

私は、行政の役割は「水を運ぶ人」だと思っています。水を運ぶ人は、誰かのために汗をかける人達です。市職員の皆さんには、ぜひ積極的にまちに飛び出て、様々な意見を聞いて、市民主体の行政を進める役割を担ってほしいと思います。

▼最後に市政運営に対する決意について、あらためて聞かせて下さい。

私は市職員として仕事をしてきた24年間で、鍛え

元気市、新型コロナにかか
る経済対策・事業者支援、
ふるさと納税、三陸鉄道
キッドドリームス、飢王戦
など、様々な事業を担当し
てきました。どの業務のとき
も、市民の皆さんと同じ
目線で、それぞれの意見を
聞きながら、事業に反映し
ていくことを大切にしてい
りました。まちづくりに
についても、この姿勢が原
点だと思っています。このス
タンスは今後も継続してい
きたいと考えています。



立ち上げに携わった野球を通
じた地域密着活動を行う「三
陸鉄道キッドドリームス」を
代表してあいさつする市職員
時代の中村市長（平成28年4
月・田老野球場の復旧式）